



# 木栄会通信

## 九州木材市場連合会総会、実務会議

### 報告

去る7月5日に九州木材市場連合会総会が開催されました。総会の前には、各市場の実務担当者が集まり、各エリアの状況や、今後の見通しなどについて情報交換が行われました。実務会議では原木製品市場それぞれから左記のような報告が行われました。



#### ● 近況報告

##### ■ 原木部会

A市場：6月まで入荷はよかった。単価は横ばいで推移。売り上げは例年より減少している。7月に入り雨の影響もあり入荷が減少している。7～9月の虫が怖い。

B市場：北部九州は入荷順調だが、前年比4%程の落ち込みとなっている。低質材の価格が高い水準となっている。

システム販売材のヒノキ価格も、20,000円/mを下回るようになってきた。

C市場：1月～6月まで出材は安定している。梅雨入り以降入荷見込みは良くない。C材を輸出業者が高く入札している。

D市場：1月以降平年より若干出荷減少となっている。値段は平年並みだが6月末雨で入荷減少中。輸出業者の買いが強く底値を引く張る形となっているが応社は全体的に弱い。

E市場：雨の影響でスギ、ヒノキともに入荷減少。ヒノキ土台用丸太は20,000円/m台キープできている。入荷を増やすための営業強化する。

F市場：7月に入り入荷減少し苦戦している。特売比率を増やして土場の回転率を上げている。エリア的に非常に集荷が厳しい。

G市場：4～6月順調だったが7月天候により激減となっている。発電用の低質材の需要が旺盛で今までもとめて市場出荷していた個人出荷者すら市場用

と発電用を山で分け始めた。そのため製材用として市場で売れる材まで発電用に分けてしまっている。相場については輸出が強い。

#### ■ 製器部会

H市場：プレカット物件は戸建てが少ないが非住宅に若干の動きがあり近年は市売りの来客も減少しており市が成立しなくなってきた。不落材も多く単価を下げてでも販売が増える事にはつながらない。

I市場：荷動きは非常に悪く当用買いが目立つ。アパート系の物件が増えておりB品への問い合わせ、販売が増加傾向に有る。5月までは前年並みだったが6月はかなり厳しい状況となる。

J市場：製品取り扱いも減少しており各社からあるように市売りも意味をなさなくなってきた。関連会社で国産材製品を生産しているが住宅メーカーなどは国産材利用について前向きな考えとなってきた。

K市場：見積、問、合わせは極めて少

ない。平均単価は5,000円/m程下りとなっている。市の回数を増やして売り上げが微増となっている。B品の取り扱いが多かったがクレームが増えたためA品の取り扱いを増やしている。

L市場：市を開催しても入札にならない。特売の比率が取り扱ひの大半を占めている。日々の営業で扱ひのお客様との関係性づくりを行うように心がけている。若手の入社も有り市場には活気ある。

M市場：市の開催回数を3回から2回に減らした。売り上げに大きな影響はない。市売りは1日分30分を終了する。市売りの在り方を考えなければならぬ。

#### ● 今後の見通し

N市場：為替の影響も有り輸入材の価格は上げ傾向となっている。需要者から国産材においても価格上げを理解が得られるか不安。

O市場：近年地域材の要望がかなり増えてきた。九州木材市場連合会実務会議を利用して各エリアでの地域材取り扱ひの連携を図りたい。

P市場：地域材の取り扱ひ、販売につい

7月号  
Vol.132

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場木栄会事務局

〒八四九一四二五二

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番三〇

TEL 〇九五五二一〇二二八三 (代表)

FAX 〇九五五二一八二八五五

ては今後製品市場の生き残りについて重要な取り組みとなる。各地域、非住宅物件で国産材利用における地域材調達は今まで以上に増える。

前述のとおり、原木においては、天候の影響も有り7月に入り入荷が現状となっており、また原木輸出の需要が多くなっていき、また用いていることからバイオマス発電用の丸太との競合から低質材が全体的に値上げ傾向に有り、また製材用丸太の状況が今後さらに悪くなれば、A、B材が輸出、バイオマス様に回される事も考えられます。製品においては市況低迷が続いており現状では秋の需要にも期待が持たなくなっており生産コストは上がり続ける一方で価格転嫁に苦戦を強いられそうです。

# 木材動向①

## ◎素材

6月の素材取扱量は全社で53,800m<sup>3</sup>で、今年2番目の取扱量となりました。

本村素材の取扱量としては、先月と比べ、3,000m<sup>3</sup>以上の増加となっております。

月後半は天候も崩れるなか、継続的に出荷いただき、誠にありがとうございます。

市況としては、スギ丸太は、先月

(製品建設部)

から横ばいで高値を維持しております。28日市での販売価格は、4m 1416cm 直 16,000円/m<sup>3</sup> 4m 141cm 小曲 15,000円/m<sup>3</sup> 4m 1812cm 直 15,000円/m<sup>3</sup> 4m 1822cm 小曲 13,000円/m<sup>3</sup> 4m 2428cm 直 15,000円/m<sup>3</sup> 4m 2428cm 小曲 13,000円/m<sup>3</sup> という結果となりました。

スギ元木の最高落札額は、4m 38cm 直 14,200円/m<sup>3</sup> でした。

ヒノキ丸太は、相変わらず製品動向の鈍い状況が続いていますが、丸太の方は安定的に入荷しており、先月と変わらない市売り数量となりました。価格は先月と比べ、若干の強含みで200円~400円/m<sup>3</sup>ほど値上がりする結果となり、梅雨で出材量が減少する事を見越した値上がりかと考えられます。

28日市での販売価格は、4m 1618cm 直 18,940円/m<sup>3</sup> 4m 1618cm 小曲 17,610円/m<sup>3</sup> 4m 2022cm 直 19,000円/m<sup>3</sup> 4m 2022cm 小曲 17,890円/m<sup>3</sup> という結果でした。

ヒノキ元木の最高落札額は、4m 40cm 直 3,000円/m<sup>3</sup> でした。

造材につきましては、最近、余尺の長短があります。丸太が滑りやすい時期ではありますが、余尺10cm程度での造材をお願いいたします。

また、スギヒノキともに、基本的に4mをおすすめしております。4m造材の

方が優位に販売出来ておりますので引き続きよろしくお願いたします。

最近、雨が降っては晴れての繰り返しで湿度が高く、入荷材の一部に虫害が見受けられるようになり、林内にたかく集積しておかれますと虫害に遭いやすくなりますので早めの搬出をよろしくお願いたします。

入荷材については、早期選別を心掛け、素材部一同、安定供給、安定販売に努めてまいりますので、一層のご協力のほどよろしくお願申し上げます。

## ◎製品

先月と同様に、製材工場の稼働率は低迷しており、製品市場や地元の工務店等からの受注も少ないため、売れ行きも低迷しているのが原因で、製品での在庫が多く残っている、受注があつたとしても、小ロット化しており、なかなか売れこながっていない。荷動きが低迷で耐えるしかない状況で、運賃上昇や為替の円安等で厳しさがしばらく続きそうです。国産構造材、外材構造材は、戸建て住宅需要の不振でコスト高となり価格に転嫁出来ていない為、プレカット工場の稼働も思ったほど良くな

ていない。材木店では、国産材は値段を下げてでも売りたい状況が続いており市に来場者している方々は相場の様子見が多く、必要最小での購入されている。

6月の当市場の相場は、ヒノキGR土台 等上4m 105X105 50,000円/m<sup>3</sup> 等上5.5,000円/m<sup>3</sup> (前月比横ばい)、ヒノキGR土台 等上4m 120X120 52,000円/m<sup>3</sup> 58,000円/m<sup>3</sup> (前月比横ばい)、ヒノキKD土台A4m 105X105 70,000円/m<sup>3</sup> (前月比横ばい)、スギGR母屋角 1等上38,000円/m<sup>3</sup> 40,000円/m<sup>3</sup> (前月比横ばい)、スギKD母屋角特 1 65,000円/m<sup>3</sup> 68,000円/m<sup>3</sup> (前月比横ばい)、スギGR平角特 1 4m 105X150 180(120厚同) 40,000円/m<sup>3</sup> 42,000円/m<sup>3</sup> (前月比横ばい)、スギKD平角特 1 4m 105X150 180(120厚同) 65,000円/m<sup>3</sup> 70,000円/m<sup>3</sup> (前月比横ばい)、スギGR小割(30X4.5、4.5X4.5、4.5X6)特1プレナー 48,000円/m<sup>3</sup> 53,000円/m<sup>3</sup> (前月比横ばい)、スギGR間柱(30X10.5、4.5X10.5)特1プレナー 50,000円/m<sup>3</sup> 56,000円/m<sup>3</sup> (前月比横ばい)、

スギ野地板2m12x小幅30,000円/m<sup>2</sup>33,000円/m<sup>2</sup>(前月比横ばい)、

スギKD柱3005x105 A品0,000円/m<sup>2</sup>(前月比横ばい)、

スギKD間柱300x105、45x105、67,000円/m<sup>2</sup>72,000円/m<sup>2</sup>(前月比横ばい)、

スギAD間柱300x105、45x105、62,000円/m<sup>2</sup>64,000円/m<sup>2</sup>(前月比横ばい)、

スギKD小割300x45、45x45、45x60(68,000円/m<sup>2</sup>75,000円/m<sup>2</sup>前月比横ばい)

となっております。

(製器建設部 U)

## 大分 森林整備便り

森林整備部の業務を行う中で欠かすことのできない伐採届についてお話をします。伐採届とは、伐採・造林後の造林が適切で安全な管理が整備がおこなわれるかを確認するという目的で、市町村長に提出する届け出です。伐採届の提出は、過剰な森林の伐採を防ぎ正しく森林整備がおこなわれるために「森林法の10条の8」で定められています。伐採届は、地域森林整備計画対象森林であれば一本でも低木・高木・樹種・登記簿の地目にかかわらず、現況が森

林の状態になつていれば必要になります。届出が必要でないものは、竹・倒木・枯死木著しく損傷した立木・除伐農林水産大臣が定めるかん木の伐採などです。

●伐採の計画書 ●造林の計画書 ●森林の位置および伐採区域を示した現場の図面などですが、令和4年の制度改正により、更に、●伐採する山林の登記簿、提出者の身分証明の写し、●売買によって伐採する場合は売買契約書の写しなど更に提出する必要があります。つまり伐採届の書類が大幅に増えたこととなります。

その背景には、近年の林業界を取り巻く状況の変化があります。まず第一に、盗伐問題(他人の山の木を勝手に伐採して盗む)と、誤伐問題(誤って他人の山の木を伐つてしまつた)があります。こうした違法な伐採を防ぐため、山林の登記簿や立木の売買契約書の写し等が必要となりました。市町村によっては更に、伐採する範囲に隣接する山林がある場合、その所有者と境界について確認をしたという記録の提出を求める自治体もあります。

また、その山の持ち主になりすま



して伐採届を出す、という違法行為も過去にあったようです。その対策として、身分証の写しの提出、法人の場合法人番号の提出、登記簿と身分証の人物が違つ場合戸籍簿本など登記上の所有者との関係を示す書類の提出などが必須となりました。

また、無届で伐採を行った場合、発覚した時点で市町村から施業中止の「勸告」・中止命令が伐採者に対して行われます。併せて、県をまたいで伐採を行っている業者の場合、他県にもその情報共有される仕組みも構築されたそうです。それに付随して、無断伐採を防ぐための衛星画像を使った監視システムの導入も進んでいます。

全国的に国産材利用が活発になつてきている時勢は喜ばしいことですが、その影で違法伐採の問題も深刻化しており、結果、対策として伐採届制度が強化されたといつていいです。

というわけで、伐採届の重要性が高まつてきている中ですので、森林の伐採に携わる方々は、必ず伐採届を市町村に提出し、市場への出荷の際には、その写しを頂ければありがたいです。

私たち市場も、製材所の皆さんに合法性が証明された安心安全な原木を提供できるように各出荷者様から伐採届の写しなどの合法性証明を必ず頂くようにしています。今後ともこの取り組みを続けてまいります。

(大分営業所森林整備部 I)

## Topics 1

プロワーカーを導入しました  
最近導入した機械について書こうと思います。木材市場の仕事で意外と時間を取られることがあります。それは選別機の掃除です。特に梅雨時期は原木の皮も剥げやす

く、かなり掃除時間がかかります。時には、風向きが悪く、製品倉庫の方へ細かな皮が飛んで行って怒られることもあります。

今回導入したのは「ST11L BR 800CE」というプロワーカーです。これは、チェーンソーなどで有名な「H社」のプロワーカーでも最大風量の機種となります。最大風速は97m/sありこれは大型台風風の風速くらいです。

実際に使ってみると土場の掃除にも使えていろいろな活用ができそうです。背負い式なので手持ちに比べて重さもそこまで気になりません。

プロワーカーを使って掃除時間を短縮し選別作業の効率化に取り組んでいこうと思ひます。

(経営管理部)





# 木材動向

## 住宅着工統計

2024年6月9日発表  
5月分/出典(株)山田事務所

### ◆概要◆

● 5月の新設住宅着工は、持家、貸家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比5.3%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比7.6%の減少となった。

### ▲全国工法別

	木造	在来	2×4	木質I/F
戸数	35,606	27,151	7,713	851
前年同月比	-4.4%	-6.6%	5.3%	-2.5%

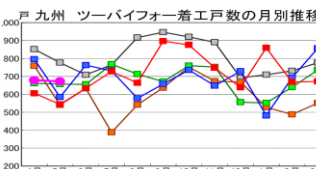
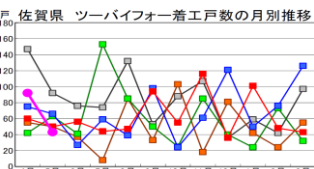
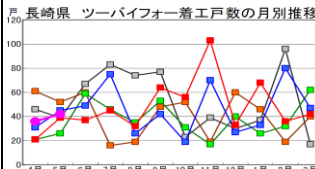
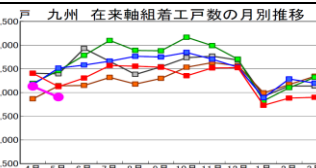
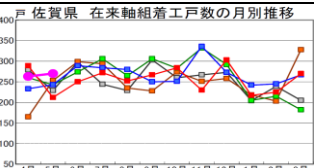
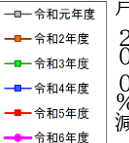
● 木質工法別に見ると、前年同月比で木造が4.4%の増加、在来軸組が2.3%の減少、ツーバイフォーが37.4%の増加、木質プレハブが14.9%の減少となった。

### ▲全国利用関係別

	合計	分譲		
		持家	貸家	戸建
戸数	65,882	17,217	27,175	21,207
前年同月比	-5.3%	-8.7%	-5.3%	-0.9%
				13.2%
				-13.0%

### ◆九州地区と佐賀県の在来軸組及び、2×4着工数

● 5月の新設住宅着工戸数は、九州地区5,999戸、対前年同月比10.3%減、同様に、佐賀県270戸、7.5%減、長崎県19戸、20.0%減といづれも減少傾向となった。前月比は下記のグラフの通り。



## 編集後記

◎ 先日、街中を歩いていて、突如友人が街路樹に手をあて、「あなたのおかげで涼しいわ。ありがと」って大声で言うからびびりしたことがあります。恥ずかしいと思っただけでも、なんだか周りの方もつられて、「うんうん」ってうなずいていました。田舎に住んでいると当たり前のように感じていましたが、確かに、コンクリートやアスファルトに囲まれた都会では、照り返しや熱気がこもり本当に暑い。歩いてた通りには街路樹があつて日陰で、さらに言うと、木を通して吹く風は若干でも温度が下がっていて暑さが和らいでいた。木って偉大だーと思いました。

「森林は、たくさん伐つてたくさん植

えたら、たくさん炭素を蓄える」という東京大学大学院農学生命科学研究科の研究成果が発表されていた。林業活動を行わなければ、森林炭素蓄積量は近い将来、飽和してしまう。一方で、活発な林業活動は、日本の森林における炭素隔離量を大幅に高めることが分かったとのこと。うーむ、なかなか単語が難しいが、要するに、もっともつと伐つてもつと植えたらもっともつと地球に優しいと！林業って、超SDGSなお仕事ですね！業界のすみっこで働いていてもなんだか誇らしいです。冒頭の、木にありがとって言われた時も、ちよつぱり嬉しくなっている自分がいました。ただ、木のあるところで働いていても今年は本当に暑い。熱中症対策を十分に取られてお仕事されて下さい。

# 7月29日(月)

# 盛夏特別市



ご出材、ご来市を心よりお待ちしております！

## 8月の市

### 8月9日(金)

### 素材FAX入札

### 8月28日(水)

## 木栄会協賛特別市

